

サポート終了まで、いよいよカウントダウン

始めてますか？

Windows Server 2003の 移行準備

「サーバーOSの移行準備、タイムリミットが迫っています。」

2014年4月9日にサポート終了したWindows XPに続き、2015年7月14日にサポート終了が予定されているWindows Server 2003。まだ時間があるように思えますが、サーバーOSの移行にはクライアントOS以上に時間と手間がかかるものです。準備期間を考えると、タイムリミットが迫っています。

■ Windows Server 製品のサポート・ライフサイクル

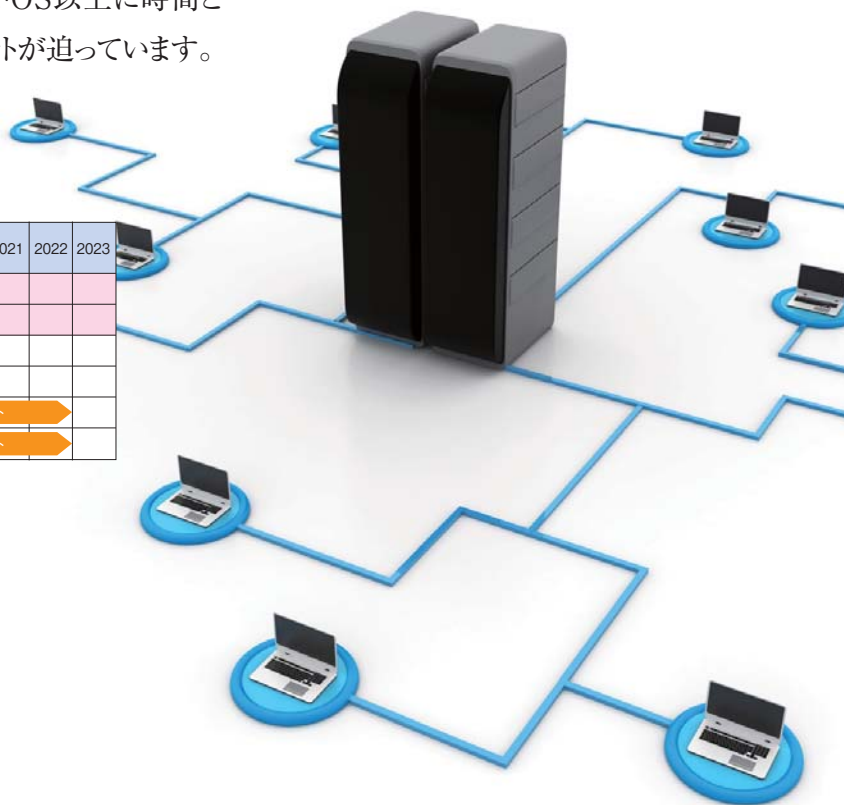
製品	ライフサイクル開始年	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
Windows Server 2003	2003年				延長サポート				2015年7月14日終了				
Windows Server 2003 R2	2004年												
Windows Server 2008	2005年			メイン・ストリーム		延長サポート							
Windows Server 2008 R2	2006年												
Windows Server 2012	2007年				メイン・ストリーム				延長サポート				
Windows Server 2012 R2	2008年					メイン・ストリーム			延長サポート				

最新のITトレンドをご案内します。

┌

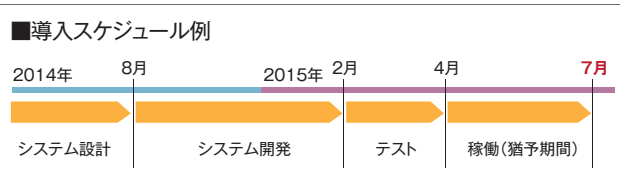
└

詳しくは裏面をご覧ください



「クライアントOSの移行より、長期計画が必要なサーバーOSの移行」

クライアントOSとは違い、サーバーOSを移行する場合は単にハードウェアを入れ替えるだけでなく、既存環境をよく検証した上で、サーバーの統合、仮想化、クラウドの利用など、自社にとって適切なシステムを選択・構築する必要があり、スムーズに最新環境に移行するには、綿密な導入計画が必要です。



「サポート終了後に起こりうるリスクとは・・・」

OSのサポートが終了するということは、システムがセキュリティの脆弱性に対して無防備になることを意味します。サポート終了により考えられるリスクは以下の通りです。



アプリケーションのサポート終了

サポート終了にともない、今までは利用可能だったアプリケーションや開発ツールも順次サポート終了に。障害時の復旧は困難を極めます。

セキュリティ更新プログラムの提供終了

ウイルスやマルウェアなどに感染する危険性が増加。しかも、それにもなう情報漏えいや業務停止のリスクは、クライアントPCの比になりません。

トラブル対応や原因調査などサポートコストが増大

更新プログラム以外の回避策を検討する必要があるため、サポートコストが増大。また、その間、システムが利用できなくなる影響も計り知れません。

「Windows Server 2012/2012 R2、移行のメリット」

Windows Server 2003は、クラウドもタブレットもない時代に作られたOSです。

Windows Server 2012/2012 R2に移行すれば、従来機にはない最新のテクノロジーを活用でき、さまざまなメリットが得られます。

サーバーの処理性能アップ



より大容量のメモリ空間を利用できるため、大幅に処理性能が向上

複数のサーバーを1台に集約



仮想マシンとして動作させることで、用途別の物理マシンが不要

GUI/CUI どちらも運用可能



マウスでの操作とキーボードによるコマンド入力操作の両方に対応

最新クライアントOSと連携



最新クライアントOSの高速かつ高度な機能に対応し生産性が向上

社外からの業務遂行をサポート



場所やデバイスを問わず、サーバーへセキュアにアクセスする機能を実装

障害、災害に強いIT基盤を実現



クラウドサービスWindows Azureをバックアップサイトとして利用可能

●Windows、Windows ServerおよびWindows Azureは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。●Canon、Canonロゴはキヤノン株式会社の登録商標です。●本紙に記載されている会社名、商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。●記載の内容は2014年7月現在のものです。●弊社の都合により予告なく変更させていただく場合がありますのでご了承ください。